

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年3月6日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4671500082
法人名	有限会社 さくら商事
事業所名	グループホーム 吉田さくらの里
所在地	鹿児島県鹿児島市東佐多町2060番地 (電話) 099-295-2422
自己評価作成日	令和3年1月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年2月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・両棟を囲んだ広い中庭があり、天気の良い日は両棟の交流を図りながらお茶、食事、外気浴、散歩、レクリエーションなどを楽しんで和気あいあいと穏やかな時間を過ごしております。庭の隅に畑を作り、草むしりや水まきなど手入れをしながら野菜作り、収穫、調理、食事までと共同生活を楽しんでいただけるよう支援しております。

・感染予防対策を十分にとりながら楽しめるレクリエーションを工夫し行っております。また講師による音楽療法の開催、地域の行事、清掃活動も行っております。

・ホームの理念として「この家で、共にくつろぎ、共にやすらぎ、地域とふれあいのある暮らし」を目指し、地域の方々の協力を頂き地域の中で安心してその人らしく暮らすことができるよう支援しております。また、ご利用者やご家族が望む「人生の最期」を可能な限り慣れ親しんだ環境で安心して過ごせるようご家族や主治医・看護職・介護職で連携をとりながらサポートさせて頂いております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当事業所はデイサービス併用型で入居者に良い刺激となっている。周辺には民家も多く野菜類や柑橘類などの差し入れがあり、日常的に地域と交流している。

・コロナ禍の為、ソーシャルディスタンスを保つての庭での青空面会や毎月の行事も感染対策をとって、ホーム内や中庭でのレクリエーションを工夫し支援している。

・防災意識が高く、訓練時は地域消防団や地域協力員と連携、協力関係を構築している。

・看護協会から感染症の専門看護師による感染予防対策の看護実地指導を受け、パーティションの設置・フェイスシールド・ゴーグル等を準備し対応している。

・管理者は職員の表情の変化に留意し個人面談をする等、働きやすい環境づくりを心がけている。職員間のコミュニケーションも良く、ケア方法等の意見も多く出され、サービス向上に繋げている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	全職員がホームの理念を念頭におき、サービスを行っている。	地域密着型の意義を踏まえた理念を、事務所・玄関に掲示しパンフレットにも記載している。月1回の合同会議で理念の唱和を行い、年間目標を設定し確認しながら実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍の中、交流の機会が減っているが、地域との交流は個別に連絡、訪問を行い、地域の情報を得るように努めている。	自治会長から情報を得て、地域の美化活動や鬼火焚きの準備など地域の一員として参加している。日常的に挨拶や野菜・芋等の差し入れもある。事業所も年末の餅つき後は近隣に餅を配ったり、認知症の相談も受け入れている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	コロナ禍の中、違う形で感染予防に努めながらの交流を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍の為、3月を機に開催できていないが、文書にて報告は行っている。	コロナ禍であり2ヶ月毎に、委員へホームの状況を文書で直接訪問して報告し、地域の情報や意見を聞いている。行事については安全で利用者が納得のいくものを計画したり、避難場所の再検討等、サービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>担当者にご利用者の状況を報告したり、相談を行っている。</p>	<p>市担当者とは、窓口に出かけてコロナ禍の取組みや電話で相談する等、日頃から協力関係にある。福祉担当者や介護相談員とは情報を共有したり看護協会から感染対策看護指導を受けている。研修会にもリモート参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>拘束を行うことでご利用者の能力の低下・損失を伝え、日々のケアにおいても拘束が何にあたるかを職員が意識して支援している。また、日々カンファレンスを行い、身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。</p>	<p>マニュアルを基に身体拘束廃止委員会で3ヶ月ごとの内部研修や勉強会を実施している。言葉による拘束については個別指導する等、意見交換しながら身体拘束しない支援に努めている。日中の玄関施錠はせず、外出希望時は、職員が同行して対応し、身体拘束しないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修に参加し、理解を深め防止に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	合同会議、勉強会などを開き説明し、学ぶ機会を設けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ご利用者、ご家族が理解・納得できるような説明を行い、安心していただけるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	コロナ禍で家族会が開催されていない為、面会や電話などでご意見や要望を聞き、職員間で共有している。	利用者には日々の暮らしの中でコーヒーやお茶タイム・食後等に思いを聞いている。家族からは、アンケートを年に1回、面会はコロナ禍にあり、月に1回外気浴しながら青空面会、リモート面会時に意見や要望を聞いている。毎月のホーム便りで、医療面と生活面のメッセージを送付し電話でも話している。希望の献立注文や下肢筋力を鍛える支援を取り入れている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員同士の関係がとても良好でご利用者のケアやサービス向上、運営など何でも話し合える環境作りに努めている。</p>	<p>毎日のカンファレンスや月1回両棟同時のカンファレンスは、管理者が時間をずらして参加し意見を聞いている。職員の個人面談もしている。提案で車椅子の足置きの工夫やクッションで姿勢保持に努める等、介助方法を工夫している。職員間でもコミュニケーションが良く、意見も出て、反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個々の勤務希望など考慮し、働きやすい環境作りに努めている。また個々の実績等を把握し、給与・非常勤から正社員へ反映できるようにしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修会への参加など学びの機会を設け、個々の能力に応じて必要と思われる場合は推進している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に加入しており、情報交換を行っているが、福祉フェスタや他事業所の行事への参加活動はコロナ禍のため減少している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	十分な情報収集を行い、ご本人の表情などから見極め、声かけし、安心していただけるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用開始前から話し合い、ご家族の思い・不安などを把握して関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人・ご家族と話し合う中で情報収集し、その時に必要な支援を見極めて対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者、職員という立場はわかまえながら、共に暮らすことを大事に考え、家事や洗濯、くつろぎの時間など本人本位のペースを心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナ禍の少ない面会時間の中で、充実した時間を過ごしていただけるような環境づくりに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の馴染みの人物・場所など関係が途切れないように、感染予防に努めながら支援を行っている。	コロナ禍で訪問理美容を支援している。電話連絡や手紙・年賀状等を取り次ぎ、支援している。馴染みの店での買い物・ドライブに同行したり、初詣・墓参り等、関係継続の支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様方の個性を見極め把握し、感染予防に努めながらよい関係が作れるように時には、声かけなどを行い、配慮に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ホームを退去されても、連絡を入れたり、ご家族からの相談を受け、支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	聞き取りが困難な時は、ご家族からも話を聞いて、ご本人の思いや暮らし方に添えるように支援している。	日々のケア、お茶やコーヒータイム等で思いや意向の把握をしている。困難な場合は、入居時からの生活歴をもとに表情の変化や家族に聞く等して、職員間で意見交換し本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用者がどのように生活してこられたのか、ご本人・ご家族から聞き取り、把握するよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員間で情報共有に努め、把握し支援するよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	合同会議・日々のカンファレンスの中で、ご本人・ご家族のご意見やご要望を情報収集し、介護計画に反映させている。	本人・家族からの要望や主治医・関係者の意見を取り入れ、日々のカンファレンスでの意見をもとに担当者会議で、利用者の現状に即した介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎、見直しを6ヶ月毎に行い、変化時はその都度見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、個別の記録に残しておりケースカンファレンスを用いて共有し、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々のかかわりやご家族の面会等で要望や意見を把握し、その都度対応を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	感染防止に努めながら、買い物や足湯などの外出支援を行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	随時、訪問診療を取り入れ、必要時は感染防止に努めながら他科受診も行っている。	本人・家族の希望を聞き、受診の支援をしている。2週に1回、医療機関から訪問診療が有り、毎日看護師が適切な医療を受けられるよう支援している。他科受診は職員が同行し前後で家族に報告している。24時間医療連携体制で緊急時に対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	ホームの看護師と情報共有を行い、早期の対応を行い重度化しないように努めている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院中も病院と情報交換しながら、主治医ご家族に報告し、なるべく早く退院ができるように支援している。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	その都度ご本人の状態に応じて、話し合いを重ね、事前意思確認書を用いながら説明をし、段階に応じて事前確認書・支援内容を変更している。	重度化した場合における指針と看取り介護に関する指針があり、入居時に説明し同意書がある。状態変化時は家族と話し合いを重ね、方向性を共有し支援している。看取り事例もあり、家族のソファベットなど環境を整え取り組んでいる。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	心肺蘇生法を全ての職員が受講しており、急変時・事故発生時に対応できるように会議などで勉強会を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の総合防災訓練と年4回の自主訓練を行っている。消防からの意見を伺い、業者・職員で感染予防に努めながら実施し、日々備えている。</p>	<p>マニュアルを基に年2回総合防災訓練を実施している。消防署参加は今回はできず点検業者でスプリンクラー、消火器の点検を行っている。自主訓練は年4回、緊急連絡・移送の方法・水害時の避難場所の確認等を行っている。心肺蘇生等の研修や毛布を用いての搬送する訓練等も実施している。備蓄は水・カップラーメン・レトルト食品・お粥等がある。カセットコンロ・発電機等もある。感染予防対策にフェイスシート、消毒液も用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーや接遇などの勉強会を行い、ご利用者のペースに合わせて対応に心がけている。	マニュアルがあり、年1回人権やプライバシーについての研修会を実施している。毎月合同会議で接遇についての勉強会を行っている。入室時はノックする、入浴やトイレ誘導時は利用者に応じて声掛けの工夫、排泄時はカーテンを閉め外で待機する等、羞恥心に配慮した対応を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己表出、決定が困難なご利用者については、ご家族より情報を得ながら、ご利用者の希望に添えるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者の体調を考慮しながら、ご本人に合ったペースで過ごしていただいている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	定期的に散髪などを行い、着衣などは時期や好みにあったものを選んでいただき、ご本人の意見を尊重しつつ、状況によってはさりげなく声かけを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	楽しい雰囲気作り、声かけ、サポートを行っている。協力していただける範囲で食材の下処理や後片付けなどをお手伝いしてもらっている。	個々の嗜好や形態に配慮し、きざみ食・とろみ食等に対応している。食事を楽しむことができるよう旬の物を使い、味噌作りや高菜漬けをしたり、庭での食事などを工夫している。盆拭き・台拭き等を一緒にしている。敷地内の畑やプランターで収穫した食材も活用し、嚥下機能に応じた食形態で提供している。誕生日には希望を取り入れた食事、季節行事食も提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その日、その時のご本人の状態に応じて食事形態やメニューを変更し、対応している。また、水分量や食事摂取量等はチェック表を用いて確認している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後にご利用者の状態に合わせて、口腔ケアを行っている。また、訪問歯科を取り入れ、定期的な状態観察に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を利用し、排泄パターンを把握してトイレ誘導などを行っている。また、ご本人のプライバシーの尊厳に配慮した声掛けなどを行っている。	排泄チェック表でそれぞれの排泄パターンを把握し、羞恥心などに配慮し排泄の自立に向けた支援を行っている。オムツ・パット・リハビリパンツ等、利用者に応じて使用しているがパットが大から小へ、リハビリパンツの使用減少等、改善傾向にある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	状態に合わせ適度な運動・マッサージや乳製品などを用いて自然排泄が維持できるように努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	時間やお湯の温度、入浴剤の有無、順番などご本人の希望に応じて、心地良い環境づくりに努めている。	基本的に週3回希望に応じて入浴支援している。同性介助など臨機応変に対応している。ゆず湯や入浴剤を使用し色や香りを楽しんでいる。拒否時は声掛けの工夫・時間調整しての支援等、無理強いはしないで、手浴・足浴・全身清拭などを支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ホールにソファを配置し、心身の状態に合わせて休憩がとれるように配慮し、快適な睡眠がとれるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>個人の薬内容・目的を周知し、正しく服薬できるように支援している。</p>			
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>情報収集をし、日ごろの活動やレクリエーションに取り入れ、一人一人役割を持っていただくよう工夫している。</p>			
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>ご利用者に合わせ、感染予防に努めながら、花見・ピクニックなどに参加できるように努めている。</p>	<p>日常的に近隣の散歩や中庭で外気浴をしている。コロナ禍で外出困難であるがドライブやコスモス花見・古民家でお茶会をしている。敷地内でそーめん流し、グランドゴルフ、テントを張りテーブルを出して七輪で魚焼きパーティなど工夫して支援している。初詣・買い物等、外出支援している。家族の協力で買い物にも出かけている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族と相談しながら、ご本人の希望に添えるように支援している。</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	毎月のお便り・新聞で近況報告を行っている。ご本人の希望があれば、その都度、電話ができるように支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールなど共有スペースには季節感を取り入れた展示物やご利用者の作品を飾るなどしている。また、感染予防によってご利用者が不快や混乱を招かないような環境作りに努めている。	共用空間は換気を行い、適度な温度、バスタオルで湿度を維持し環境調整している。パーティションやソーシャルディスタンスで椅子も配置している。テレビ・ラジオもあり、大きい水槽で金魚を飼い、餌やりを利用者と一緒をしたり、創作したひな祭りのちぎり絵、レクリエーション時の写真を掲示し、居心地よく過ごせるよう工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースには感染予防に留意しながら、ソファや椅子など設置し、いつでも利用できるように工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室内は写真や思い出の品物を置き、安全にも配慮した居心地の良い環境づくりに努めている。</p>	<p>電動ベットや介護ベットがあり、利用者の状態に応じて使用している。タンスとエアコンを設置している。仏壇・鏡台・ラジオなどを持ち込み、小物・家族写真があり、居心地よく過ごせるように工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ご利用者一人一人の状態に合わせて、手すりや案内板等を用いて自立した生活が送れるよう工夫した支援をしている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない